

「勉強」は楽しいか？

本屋さんには勉強に関する書籍が並んでいます。
中には「超勉強法」のようなキャッチーなタイトルのももあります。
さて本当に勉強は楽しいのか？結論から言うと「勉強は楽しい」です。
今でも過去に戻れるなら受験生時代に戻りたい、と真剣に思います。
何が楽しいのか？

筆者が昭和時代の受験生だったからか？昭和は受験戦争と呼ばれていました。
しかし勉強には昭和、平成、令和と歳月が移ろうとも不変の事実があります。
勉強は、

「自分が知らないことを知り学ぶことが知的好奇心を満たすから楽しい」
のです。

受験生という立場ではさらに楽しさのアイコンが増えます。
月に2回平均くらいで模擬試験を受けるのが一般的な受験生の姿です。
正直なところ、模試を受けて自己採点をしたときは不愉快です。自分の思った点数よりはるかに低いことが多いからです。しかし、解説書をボロボロになるまで読み、アンダーラインを引き、何度か書いたり、書き込みまでして、また次の模試を受けます。

すると、解説にあった知識で解ける問題が増え、さらにはどこかで見たような問題に遭遇することが多くなります。

こうなると次の模試を追いかけるのが面白くなってきます。偏差値も上がったたり下がったりしながら右肩上がりですりずり上昇します。
次は偏差値60を目指そう、そのためには不得意分野の攻略だ、といった具合に、まるで偏差値ロールプレイングゲームをしている感覚になります。

勉強は知的なゲーム(遊び)で、その昔はお金に余裕のある上流階級の余興だった、という話も聞きます。ある意味では「受験生」というだけの理由で家の手伝いもせず、勉強だけに集中できる環境にあるのは特権階級にいるわけです。
大いに勉強できる「今」を謳歌してください。(文責：松田琢磨)



『2年の窓』

I 振り返りはテストの見直しだけにあらず！

テストで何を間違えたかを見直すのは最も大事なことです。しかし、実は盲点になることが1つ。それは、
昨年の考査後にみんなが言っていたこと：第1位：「とりかかるのが遅かったです。」、第2位：「●●ばかりやっていました。」、第3位：「プリントがなかったです&答えが分からなかったです。」これが解消されないまま、6、7、9月の約3ヵ月分の授業を経て、期末テストを迎えます。皆さんの反省点の中でも、第3位については少し意識すれば確実に解消できます。毎回面倒でも、授業毎、別のファイルにきちんと綴じる。答もその都度書き留めておく。第1位、2位については、そろそろ自分が何かをやるのにかかる時間を正確に把握することです。桔梗祭明けの9月はじめ。ここが、今回時間がかかり過ぎたものを始めるスタート地点です。Please keep it in mind★

II 夏休みに何する？計画を立てよう。～国際交流編～

《海外編》

すでに夏休みの短期留学を計画中的人もいますが、「これから調べる！」という人は、1号館1階、進路資料室にもコーナーを設けてあります。参考にして下さい。

《国内編》

- ① 7月8日(月)からフランスからの留学生、Claire-Lefebvre, Mila(クレール・ルフェーブル, ミラ)さんが3週間本校に滞在します。基本は2年D組で過ごしますが積極的に交流してみましよう！
- ② 7月31日(水)の午後にアメリカ合衆国インディアナ州テラホート市より10名のアメリカ人高校生が来校し交流会を行います。希望者を後日募ります。Let's have fun together!
- ③ 8月5日～8日(3泊4日)岐阜県郡上市で国際交流サマーキャンプが開催されます。大学生のボランティア『名古屋学生部』により運営されますが、今年度その代表を務めるのは本校卒業生です！！
定員に達する前に急いで応募しよう！ ※クラスに配付されるパンフレット参照 (文責：桑原)

